

# 星空ガイド

世田谷区立中央図書館・プラネタリウム

TEL.FAX. 03-3429-0780

2025年

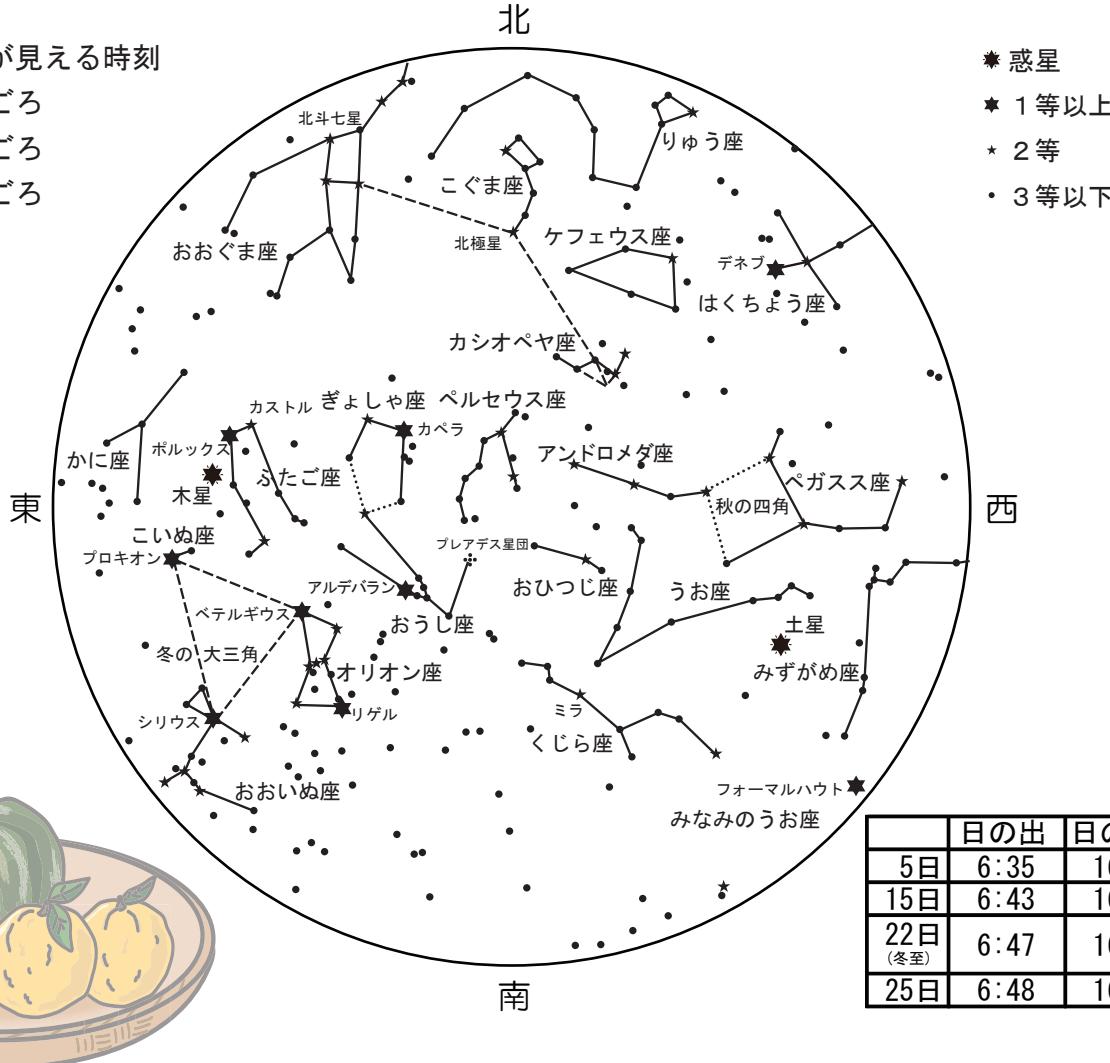
12月号

## ◆右図の星空が見える時刻

1日 22時ごろ

15日 21時ごろ

30日 20時ごろ



## 冬至

22日が冬至。昼が最も短く、夜が最も長くなる日です。日の出・日の入りの時刻から実際に計算して比べてみると...? 昼が9時間45分。夜は14時間15分。実に4時間半も違うのです。これは東京での値ですが、緯度が高い地域ではその差がさらに広がります。北海道では昼が9時間未満になる地域も。さらに高緯度の、北欧などの場合は昼がゼロ、つまり太陽が昇らない地域が生まれます（北極圏）。

冬至が過ぎれば昼が再び長くなっていきます。気が早いですがこれを「春」の訪れとして「新春」「迎春」などの言葉が生まれました。とはいえ、冬が終わるにはまだまだ遠く、寒い日が続きます。

空の透明度が高くなり、星を見るのには絶好の季節でもあります。暖かくして空を見上げてみましょう！

## 惑星

土星 夕方、西の空に見えます。

木星 午の、東の空に見えます。

1.1等級

-2.6等級

## こよみ

12月 5日 ○ 満月

7日

たいせつ  
大雪

12日 ○ 下弦

20日 ● 新月

とうじ  
冬至

22日

28日 ○ 上弦